平成３０年１０月１６日
静岡県立科学技術高等学校
国土交通省中部地方整備局

将来の建設業界を担う若者が最新の建設ＩＣＴを学びます！

～静岡県立科学技術高等学校で学生のためのＩＣＴ講座を開催します～

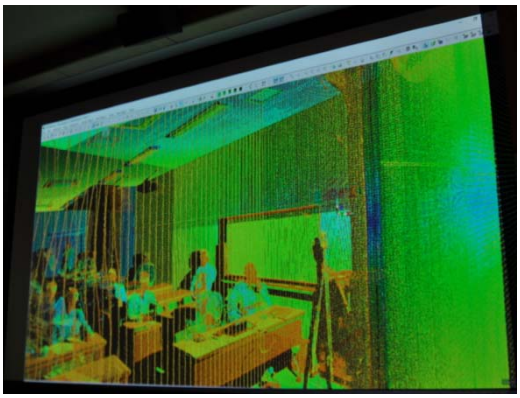
中部地方整備局では、建設現場の生産性向上・労働者不足など、現在「建設産業」が直面している様々な課題に対応するため、建設ＩＣＴの導入・普及を積極的に進めており、その一環として、昨年度より、将来の建設業界を担う高校生・専門学校生・大学生等を対象とした「ＩＣＴ講座」を（一社）日本建設機械施工協会と協力し、管内の学校で順次実施しています。

「ＩＣＴ講座」では最新の建設ＩＣＴを実際に学び・体験していただくことにより、より一層、建設業界に興味・関心をもっていただくことを目的としており、今回、静岡県立科学技術高等学校で開催します。

※ＩＣＴ（Information and Communication Technology「情報通信技術」）

１．開催概要
１）日　　時：平成 30 年 10 月 24 日（水）14:10～16:00
２）場　　所：静岡県立科学技術高等学校　視聴覚室
静岡県静岡市葵区長沼 500 番地の１
３）参 加 者：静岡県立科学技術高等学校　都市基盤工学科　２学年　40 名
４）講座内容：別紙－１のとおり
５）主　　催：国土交通省　中部地方整備局（建設ＩＣＴ導入普及研究会）

昨年度開催時における座学の様子



3Dレーザスキャナを用いて教室内をスキャン

※写真：昨年度の静岡県立科学技術高等学校でのICT講座の状況

２．添付資料
別紙－１：学生のためのＩＣＴ講座プログラム（案）
別紙－２：静岡県立科学技術高等学校　案内図
別紙－３：学生のためのＩＣＴ講座チラシ

３．配 布 先
中部地方整備局記者クラブ・静岡県政記者クラブ

４．そ の 他
当日、取材をしていただける報道関係者様におかれましては、事務室で受付をお願いします。

５．問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局　企画部　施工企画課（建設ＩＣＴ導入普及研究会事務局）
建設専門官　　川口　一彦　　TEL　052-953-8180
FAX　052-953-9192

別紙－１

学生のためのＩＣＴ講座　プログラム（案）

日時：平成３０年１０月２４日（水）１４：１０～１６：００
場所：静岡県立科学技術高等学校　視聴覚室
　　静岡県静岡市葵区長沼５００番地の１

○１４：１０～１４：４５【座学】
講座名：建設業界を取り巻く話題と最新の建設ＩＣＴについて
講　師：国土交通省　中部地方整備局　企画部　建設専門官　川口　一彦

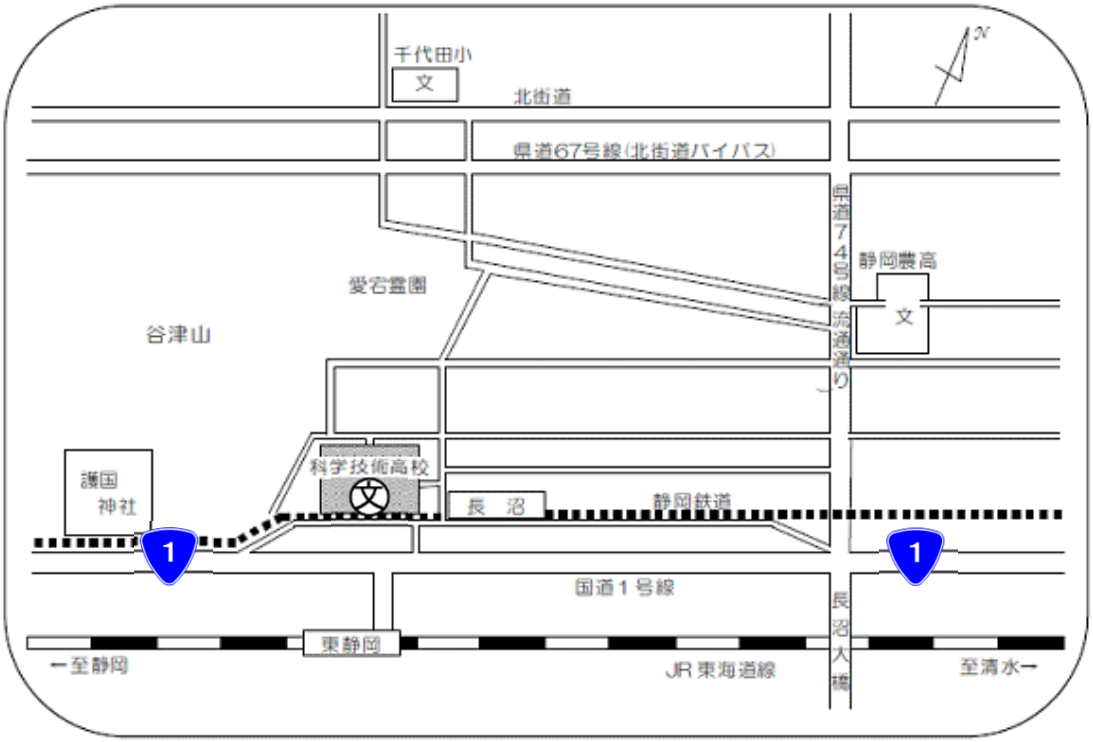
○１４：４５～１６：００【座学・実演】
講座名：ＩＣＴを活用した測量技術について
講　師：（株）シーティーエス
　　東海・甲信営業部　測量計測事業担当課長　酒井　満
　　浜松支店　支店長　中山　俊彦
※（一社）日本建設機械施工協会会員・建設ＩＣＴ導入普及研究会会員

備考：教室内でレーザスキャナの実機等を用いたデモンストレーションを行います。

※時間は目安であり、前後する場合がありますので、ご了承ください。
※途中で１０分間の休憩があります。

静岡県立科学技術高等学校　案内図

案　内　図



※静岡県立科学技術高等学校ホームページより作成

学校外観

※静岡県立科学技術高等学校ホームページより作成

アクセス

［ＪＲを利用する場合］
東海道本線東静岡駅下車
→北口から約0．4km

［静岡鉄道を利用する場合］
静岡清水線長沼駅下車
→駅から約0．1km

静岡県立科学技術高等学校
〒４２０－０８１３
静岡県静岡市葵区長沼５００番地の１
電話：０５４－２６７－１１００（代）

*学生のための

ＩＣＴ講座

随時募集

建設現場の未来はここに！！

国土交通省が推進するi－Construction

建設現場の技術革新を体験しよう!

学生のためのＩＣＴ講座　カリキュラム例

随時募集

【座　　学】

・建設業界を取り巻く話題と最新の建設ＩＣＴについて
・ドローン・レーザスキャナを用いた最新の測量技術について
・ＩＣＴ建設施工と衛星測位
・現場で活躍するＩＣＴ建設機械

【実機デモ】

・地上レーザスキャナ（ＴＬＳ）

i-Construction 中部サポートセンター　中部地方整備局

JCMA 一般社団法人日本建設機械施工協会 Japan Construction Machinery and Construction Association

建設ICT導入普及研究会　国土交通省　中部地方整備局

【問い合わせ窓口】
建設ＩＣＴ導入普及研究会　事務局
国土交通省　中部地方整備局　企画部　施工企画課
〒４６０－８５１４　名古屋市中区三の丸２－５－１　名古屋合同庁舎第２号館
［Ｔ　Ｅ　Ｌ］０５２－９５３－８１８０
［Ｅ－ｍａｉｌ］cbr-ict@mlit.go.jp